

平成27年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

佐賀市立北山小学校

4月に文部科学省による全国学力・学習状況調査を実施しました。これは、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、児童生徒の学力や学習の状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、改善を図ることが目的です。学校においては、児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることやこれらの取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善を確立することを目的としているものです。

結果を基に、本校児童の学力の傾向を分析し、学力向上について対応策をまとめました。その概要についてお知らせいたします。

■ 調査期日

平成27年4月21日(火)

■ 調査の対象学年

小学校6年生

■ 調査の内容

(1) 教科に関する調査

主として「知識」に関する問題 〔国語A、算数A、理科〕	主として「活用」に関する問題 〔国語B、算数B、理科〕
- 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容 - 実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など	- 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力などにかかわる内容 - 様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などにかかわる内容

(2) 生活習慣や学習環境に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面に関する調査	指導方法に関する取り組みや人的・物的な教育条件の整備の状況、児童生徒の体力・運動能力の全体的な状況等に関する調査

■ 調査結果及び考察について

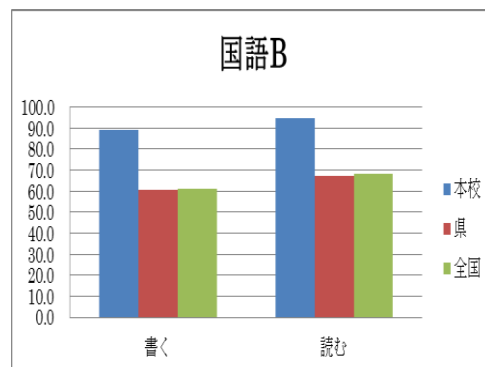
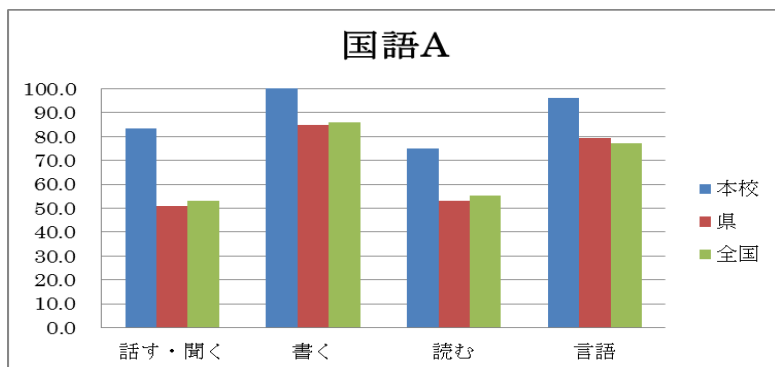
全国学力学習状況調査は小学6年生(中学3年生)と限られた学年が対象であり、教科は国語と算数(数学)、理科に限られています。さらに、出題は各教科の限られた分野(問題)です。したがって、この調査によって測定できるのは、「学力の特定の一部」であり「学校教育活動の一側面」であることをご理解の上、ご覧ください。

■ 調査結果及び考察

1 国 語

(1) 結 果

全国及び県の正答率との比較



基礎的な知識を問うA問題、活用力を問うB問題、ともに全国及び県平均を大きく上回った。無回答率もA問題・B問題ともすべての設問において0%で、時間いっぱいどうにかして自分の考えを書き表そうという意欲と集中力が高まってきている。

(2) 成果と課題

話す・聞く

・特にA問題の「話す・聞く」については、昨年度、県・全国を下回っていたが、今年大きく改善することができた。集会や学級での活動、交流学习や体験活動等での「人前で話すときはノー原稿で！」「スピーチのあとの感想交流」「様々な活動のあとのインタビュー」「テレビ会議システムを使った交流学习」等、多くの役割・出番を与え、「表現力」を高めようと意図した活動の成果が現れてきているものと思われる。

書 く

・全設問で、全国・県平均を大きく上回った。しかし、「会話を書き抜き」「話した内容と声の様子を合わせて1文で」「40～70字内で」…と、複数の条件を満たさないと正答にならない問題の正答率が、他の設問に比べ低かった。題意を的確につかみ、適切な表現をする力をつける必要がある。

読 む

・全設問で、全国・県平均を上回っており、B問題でも約95%の正答率で、読解力は高まってきている。しかし、「新聞のコラムを題材にした問題」の正答率が、他の設問に比べ低かった。限られた字数の中で、先人の言葉を引用したり、ユーモアを交えたり、読者に問いかけたり訴えたりするコラムは、文の構成等児童が学ぶ点が多く、新聞を活用した学習を自学に取り入れる等工夫して取り組んでいきたい。

言語事項

・関連する9問中7問で全員正答することができていた。日々の繰り返しの指導の成果が現れている。今後は、学んだ熟語や表現を活用できるよう指導の工夫をしていく必要がある。

(3) 学力向上のための取り組み

【学校では】

- 国語の授業を中心に、「読む」「書く」「聞く」「話す」といった力を身につけます。また、獲得した国語力を他教科に活かす授業を仕組んでいきます。
- 特に、相手に考え伝えるための方法を理解させ、思考力、表現力の向上を図ります。
- 読書の充実を図ります。読書は知的活動の源泉です。朝の読書、読み語り、担任による読書の奨励をとおして、主体的に読書に取り組む子どもを育てます。

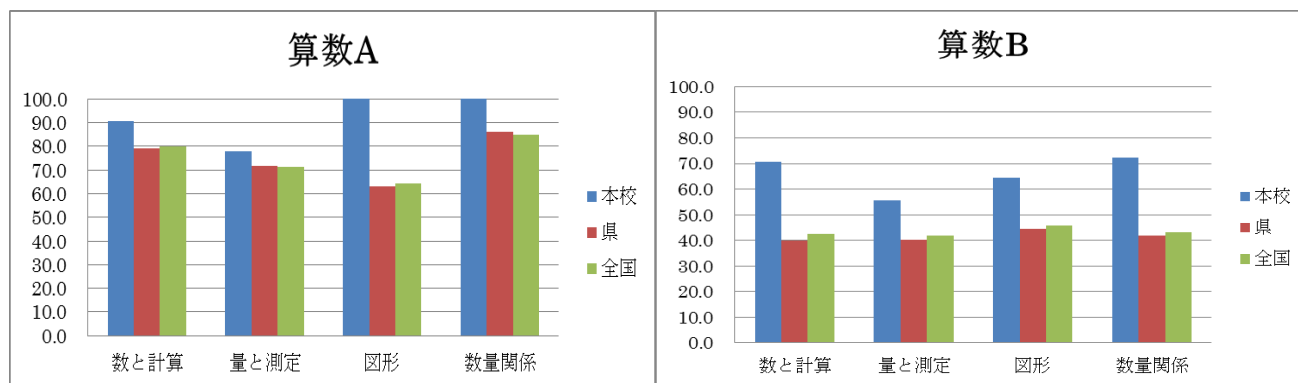
【ご家庭では次のことをお願いします】

- 読書の習慣を身につけることが大切です。毎日、自分のペースで、読書ができる環境づくりをお願いします。はじめは読み語り、交代で読むなど、興味関心を高めてください。
- お子さんと会話を増やすことが大切です。聞くときは最後まできちんと聞き、話すときは語尾まではっきりと話し、共感したり、根拠を尋ねたり、お互いの考えを交流してください。
- 漢字、音読の学習で、頑張っているところを見て、誉めてあげてください。

2 算数

(1) 結果

全国及び県の正答率との比較



基礎的な知識を問うA問題、活用力を問うB問題ともにすべての領域で、全国・県平均を大きく上回っている。無回答率も0%で、自分の考えの道筋や根拠を書き表す問題も、全員が記述することができていた。

(2) 成果と課題

数と計算

・数と計算の問題は全国・県平均を大きく上回った。日々の学習の積み重ねと、週に2度の放課後学習(友愛タイム)の効果が表われている。今後も、安定した計算力を持続できるよう指導を継続していく。

量と測定

・量と測定の問題も、大きく全国・県平均を大きく上回った。しかし、「長方形を分割した2つの面積が等しいことを証明する問題」が全員不正解であった。分かっているものの、正答の条件となる記述が正しく表現できていないための惜しい誤答であった。感覚的に理解できているだけでなく、根拠となる事実を用語や記号を的確に用いながら説明する力をつける必要がある。

図形

・図形についても全国・県平均を大きく上回った。A問題は全設問正答率100%であり、図形の定義、作図、測定等はきちんと理解できている。電子黒板を使った視覚的指導や操作活動を重視した指導の効果が表われている。しかし、「地図上の道のりを図形として捉え、図形の特徴と関連付けて解く問題」の正答率がやや低かった。学んだことを生活に生かす活動を仕組んでいく必要がある。

数量関係

・数量関係についても全国・県平均を大きく上回った。しかし、「20%増量した480mLの商品の元の量を求める問題」の正答率が低かった。図や対応数直線、□を使った式等を使って題意を理解する力や、導いた答えが妥当な数値であるかに気づく量感を伴った感覚を身につけさせる必要がある。

(3) 学力向上のための取り組み

【学校では】

- 放課後の「友愛タイム」(全学年)と「すくすくテスト」(5・6年生)を活用し、**基礎・基本の四則計算の定着、単元ごとの確実な習熟**をめざします。
- 授業では、「つかむ→見通す→考える→深める→まとめる」北山校授業モデルに全学級で取り組み、論理的思考力を高め、**自分の考えを筋道立てて説明できる力**をつけるよう努めます。
- 中学部教諭とのTT少人数指導、ノートチェック、プリント、ドリル、家庭への課題など、日々の指導の中で個々のつまづきを早期に見つけ、**補充指導**に努めます。

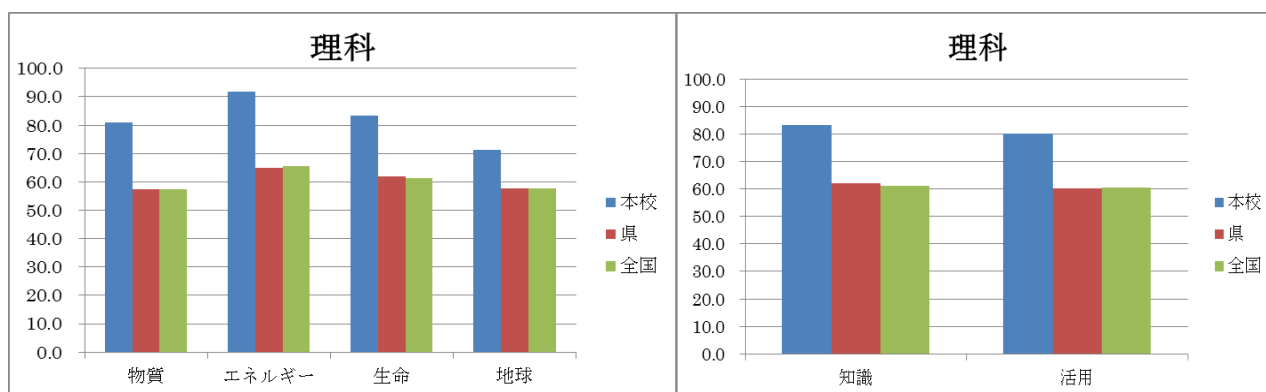
【ご家庭では次のことをお願いします】

- テスト結果だけでなく、お子さんが計算練習や算数の文章問題に取り組んで努力している過程にも目を向け、**励ましや称賛の言葉**をかけてあげてください。
- 算数好きにするには、「習ったことが生活の中で使えて、便利だな。おもしろいな。」と思う経験をさせるのが一番です。**学校で習った算数を使う生活場面を作ってあげてください。**「おかし数えでかけ算」「おかし分けで割り算」「料理で重さ」「お風呂で水のかさ」「買い物で割合」「折り紙で分数」「家の中で図形探し」…身のまわりには算数を使える場面が意外とあります。

3 理科

(1) 結果

全国正答率との比較



基礎的な知識を問う問題も活用力を問題ともに、県・全国平均を大きく上回っている。無回答率も0%で、資料や実験結果から、その根拠を書き表す問題も、全員が記述することができていた。

(2) 成果と課題

A区分(物質・エネルギー)

・県・全国平均を大きく上回っている。少人数で、一人ひとりが実験することで、理解が深まったと考えられる。しかし、少人数がゆえ、予想や検証、考察する際、多様な意見が出にくいときもある。「予想とちがった実験結果から、正しい予想を選びなおす問題」で、正答率が低かった。実験する際、児童が予想や仮説を立て、それを検証する方法を考え、どのような結果が得られればその考えを証明できるのか、明確にすることを継続して指導していく必要がある。

B区分(生命・地球)

・県・全国平均を大きく上回っている。「メダカの雌雄を見分ける問題」や「生物の生長の問題」は正答率が高かった。生物の栽培・観察は、全校的に継続して行っており、興味・関心や目的意識をもって飼育・観察することができている結果であると考えられる。

・「方位を正確に表し、月や星の動きを答える問題」の正答率が低かった。四方を山に囲まれ方位が分かりづらく、日没時や朝方の様子が実際に見られないという地理的条件もあるのかもしれない。自然豊かな山間部で学校のそばには川が流れる恵まれた環境を生かし、実際に見て触って確かめられる題材についてはその利点を生かしながら、一方地理的・気象条件のために実際に見学や観察ができなかったり、経験できなかったりするものについては、デジタル教材や動画等、ICTを有効に活用して、視覚的に理解を深めていく必要がある。

(3) 学力向上のための取り組み

【学校では】

- 一人ひとりが実験や観察ができる理科室・学校園の**環境整備を推進**します。
- 授業では、めあてを明らかにし、それを確かめる方法を考え、実験や観察で得られた結果からどのようなことが言えるか考察し、根拠や理由を示しながら結論を導く、**論理的思考力を高める理科の授業スタイルの定着**を図ります。
- 理科の学習で得られた知識を生活場面や身近に起きている現象にあてはめたり、生活の中で使われている道具などの仕組み等に注目したり、実生活との関連を図ります。

【ご家庭では次のことをお願いします】

- 子どもが理科的なことに興味・関心を持ったときに、それにつきあったり、理解を示したりする大人や家族がいることは、**理科好きな子に育つことにつながります**。テレビや新聞でも、「気象」「宇宙」「火山」「地震」…ニュースでたくさんの事象が報道されています。ぜひ話題にされて、**お子さんが科学や自然について目を向ける機会を増やしてあげてください**。

生活習慣や学習習慣に関する調査

(1) 結果

《生活習慣について》

調査項目	本校 %	全国平均 %
朝食を毎日食べていますか。	83.3	87.6
毎日、同じくらいの時刻に寝ている。	100.0	79.5
毎日、同じくらいの時刻に起きている。	100.0	91.0
平日2時間以上テレビを見る。	33.4	59.2
平日2時間以上ゲームをする。(TVゲーム・パソコン・携帯型等も含む)	0	30.2
平日読書を30分以上している。	16.7	37.7
平日読書は全くしない～10分未満。	16.7	35.7

「早寝・早起き・朝ごはん」の生活リズムは概ねできているようである。たまに朝食欠食をする児童については、保護者・児童と改善に向けて話をし、現在は朝食をとる習慣が身についている。6年生は、登校班のリーダーということもあり、下学年の世話をし、登下校するので遅刻や不登校児童はいない。

テレビやゲームについては、全国平均より少ない結果で、長時間のテレビやゲームをしている実態はない。読書については、学校での朝読書や休み時間の読書は身につけているが、家庭での読書の習慣が身につけていないようである。読書カードの活用、児童相互によるおすすめ図書の紹介、各教科・総合的な学習等、学校での学習に関連した書物を活用した課題の出し方の工夫等、家庭での読書習慣を高める方策を進めていきたい。

《家庭学習の様子》

調査の項目	本校%	全国平均 %
平日2時間以上勉強している。	16.7	25.7
平日1～2時間勉強している。	66.7	37.0
平日0～1時間勉強している。	16.7	25.1
家で、学校の宿題をしている。	100.0	96.8
家で、授業の予習をしている。	50.0	43.4
家で、授業の復習をしている。	100.0	54.5

家庭学習については、100%の児童が宿題を怠ることなく続けている。家庭学習の時間が長いとは言えないが、家庭での学習の習慣は定着している。しかし、学習内容については宿題中心で、予習をしている児童は50%であった。自学にも毎日取り組んでいるが、内容はかなり差異が見られるので、モデルとなる自学ノートを掲示したり、学級通信等で保護者に紹介したり、保護者の協力を得ながら家庭学習の質・量をともに上げていきたい。

(2) 改善に向けての取り組み

【学校では】

- 宿題として「音読」「漢字の書き取り」「プリントやドリル」を基本に毎日出します。自主学習（自学）についても、お手本になる**自学ノート**を掲示したり、工夫を凝らした自学ノートを書いた児童を称賛したりすることで、意欲を持って自主学習に取り組むようにしていきます。
- 「**家庭学習調査**」や「**学習に関するアンケート**」をもとに、**生活習慣や学習習慣についての個別指導**を続けていきます。
- 「**立腰**」に取り組み、集中して学習することを、今後も全学年で取り組んでいきます。

【ご家庭では次のことをお願いします】

- 「**家庭学習の手引き**」を参考に、家庭学習の内容を確認され、**自学ノート**の確認をしていただき励ましていただくことで、より児童の自主的な学習態度が育まれていくと思われます。
- 年3回の「家庭学習調査」週間のときは、わが子の**学習の内容、読書量**を親子で確認していただくことで家庭学習への意識が更に高まると思います。
- 食事中、家庭学習中の姿勢等、家庭でも「立腰」**の取り組みへの協力をお願いします。